

いぬむらさきしきぶ

Callicarpa Shirasawana Makino

稀に見出される落葉灌木で、ムラサキシキブとヤブムラサキの雑種と考えられる。高さ3-4mに達し、若枝には小さい星毛が密生している。葉は対生し、柄には星毛があり、長楕円形乃至卵形で両端は長く尖り、縁に鋸歯があり、長さ3-10cm巾1.5-3.5cm、両面共毛がある。6-7月、葉腋から聚繖花序をだし、星毛が多い。萼は長さ2mm許、少し星毛があり、裂片は4個で卵形である。花冠は淡紅紫色、長さ約4mm、外側に微毛と腺点があり、裂片は4個で円い。雄蕊は4本、花柱と共に花冠から突き出す。果実は球状で径4-6mm 紫色に熟す。ムラサキシキブより毛が多く萼は浅裂、ヤブムラサキより葉や萼の毛少く、萼浅裂、花序の花数が多く、花はやや小さい。



ムラサキシキブ科

とさむらさき

一名やくしまとむらさき

Callicarpa shikokiana Makino
(=*C. yakusimensis Koidzumii*)

主に四国、九州の南部に産する落葉灌木で、若枝には微細な毛が多い。葉は対生し、柄は長さ5-10mm、長楕円形で両端に向い細まり、先は長く尾状に尖り、縁に鋸歯があり、長さ3-12cm巾1-4cm、両面に多数の小腺点と、上面及び下面脈上に細毛がある。7-8月、葉腋から径1-2cmの小さい聚繖花序を出し、花軸には細毛があり、淡紫色の小花を開く。萼は盃形で長さ1mm、短い4歯がある。花冠は径3mm許、4中裂する。4雄蕊と1雌蕊は長く花外に突き出す。果実は球形で小さく径2mm、紫色に熟す。ムラサキシキブに比べて各部小さく、葉は上面にも多数の腺点があり、若枝や花序などには微細な毛がある。



ムラサキシキブ科

らんたな

一名しちへんげ、こうおうか

Lantana Camara L.

熱帯アメリカ原産の小灌木で、普通鉢植として温室で栽培される。茎は4角であらい毛があり、又小刺が散生する。葉は柄があり対生し、卵形で先は尖り、縁にやや鈍い鋸歯があり、長さ3-8cm巾2-5cm、質はやや厚く皺があり、硬い毛が多くざらつく。夏秋、葉腋から長い花茎を出し、頂に無柄の花が密集して着き、傘状に開花する。苞は広披針形、萼はごく小さい。花冠は初め黄色又は淡紅色で後に橙色又は濃赤色になり、又白花品もある。花筒は細長く少し彎曲し、先はやや不同の扁平な4裂片に分れ平開して径6mm許。4雄蕊、1雌蕊。果は頭状に着き、球形で紫黒色に熟す。和名の七変化及び紅黄花は共に花色が咲き初めから段々変るので名付けられた。



ムラサキシキブ科

ひるぎだまし

一名やなぎばひるぎ

Avicennia marina Vierh. var. alba
Bakh. (=A. alba Bl.)

琉球、台湾など南方の浅海泥土上に生ずるマングローブの一種で、*Rhizophora* 属などヒルギ科の植物より塩水に弱く、内湾によく生育する。高さ数mの小喬木で、小枝は平滑暗褐色。長楕円形で長さ4-6cm許の革質有柄の葉を対生する。葉裏は灰色、白色の絨毛があり、全縁で先端鈍頭、又は稍鈍頭。花は淡緑色で無梗径5mm許、枝端に頂生する長柄のある繖房花序に簇生する。小苞を具える萼は短形5深裂、裂片は円く、縁に毛がある。花冠の筒部は広円筒形で、先端は拡がって5裂、時に4裂、縁毛があり、先端は鋭尖し、平開又は稍反曲する。花喉に短花糸をもって着生する4雄蕊があり、花柱は棒状で直立し、先端2岐、子房は有毛である。蒴果は宿存萼及び小苞を伴い、球形鋭頭、径2cm許、小絨毛に覆われ、熟すれば2裂する。



ムラサキシキブ科

えぞむらさき

Myosotis sylvatica Hoffmann

欧亜に広く分布し、北海道や本州中部の深山に見られる多年生草本である。全体にやや立った細い毛があり、茎は高さ12-40cm、根葉は長い筵形で鈍頭、基は細まって柄になり、茎葉は倒披針形でやや尖り、上部の葉では基が茎を抱いている。6-7月、枝先に往々2岐する繖房花序をつけ、初め先が巻くが後に長くのびて10cm以上になる。萼は深く5裂し、裂片は広披針形でやや立った毛がある。花冠は径5-8mmで淡碧色、筒部は短く、裂片は楕円形で平開し、喉部に黄色の小突起がある。5雄蕊、1雌蕊。分果は卵形で長さ1.5mm、1側に稜があり、黒褐色で光沢がある。本種に似たワスルナグサは萼の裂け方が浅く、毛はびったりと伏している。



ムラサキシキブ科

おにるりそら

Cynoglossum asperrimum Nakai

山地に生ずる2年生の草本である。茎は高さ40-80cmになり、細そく硬い毛があり、下部には立った長い粗毛を有し、上部で斜上した枝を分つ。葉は広披針形で両端が尖り、長さ5-20cm巾1-6cm、疎に細い硬い伏毛がある。夏、枝先はしばしば2岐し繖房花序を出し、初めは先が巻いているが後長く延びて疎になる。萼は深く5裂し、長さ約3mm、果時には少し大きくなる。花冠はワスルナグサに似、青紫色で径4-5mm、裂片は卵円形、花喉には5突起がある。5雄蕊、1雌蕊。果実は下へ向き、4分果からなり、分果は扁球形で長径3-4mm、先が鉤状になった太い刺が密生してよく他物にくっつく。和名は鬼瑠璃草の意味である。



ムラサキシキブ科